

民間パビリオン

4月13日 大阪・関西万博

本万博では、160を超える地域・国際機関がプロデューサーが主導するシグネチャーパビリオンを建設。今回は、13の民間企業・団体が出展する民間パビリオンを紹介。

1 株式会社バンダイナムコホールディングス



GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION

約17mの実物大ガンダム像は、宇宙、そして未来へと手を差し伸べる新たな姿で登場。「ガンダム」を通して世界中の人々とながり、ともに「未来」を考えるきっかけの場を目指します。



©創通・サンライズ

2 特定非営利活動法人 ゼリ・ジャパン



BLUE OCEAN DOME (ブルーオーシャン・ドーム)

テーマは「海の蘇生」。海洋プラスチック汚染防止と、海洋資源の持続的活用の実現を、3つのドームから学びます。



提供：特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン

3 一般社団法人 大阪外食ORA

ORA外食パビリオン 『宴～UTAGE～』

テーマは「新・天下の台所」。外食では日本食を提供、2階で食の未来を表現します。



提供：ORA

6 玉山デジタルテック株式会社

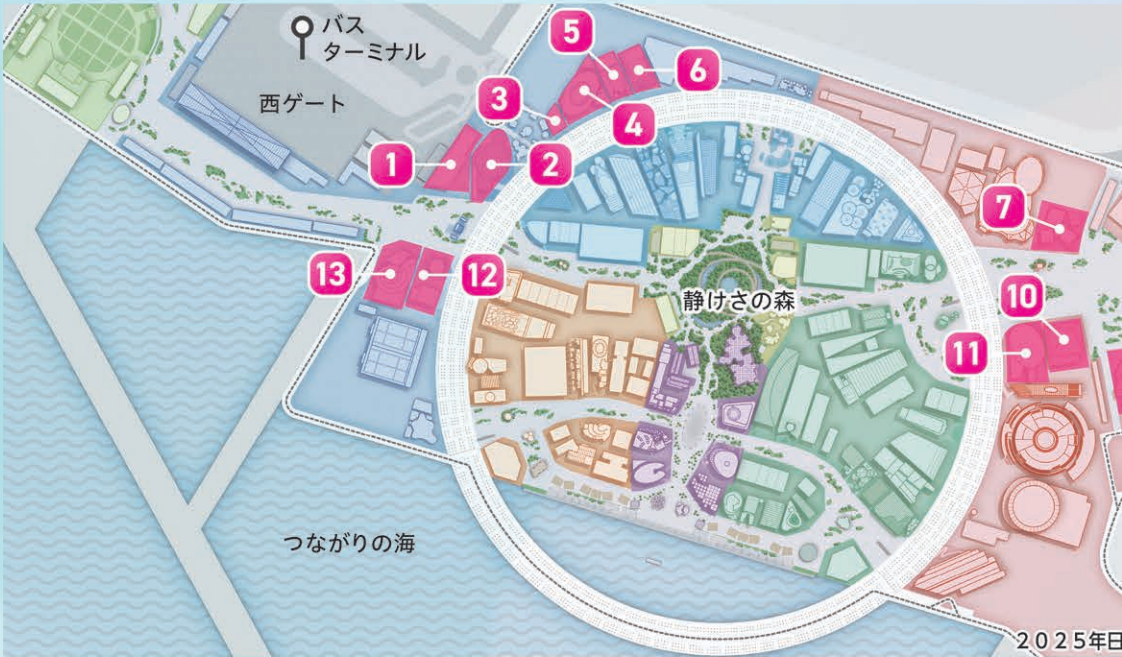


TECH WORLD

高くそびえる群山から着想を得た「心の山」が建築コンセプト。立体映像技術を融合させた展示を通じて、視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚・感性といった「六感」と交流します。



©Tamayama Digital Tech Co., LTD



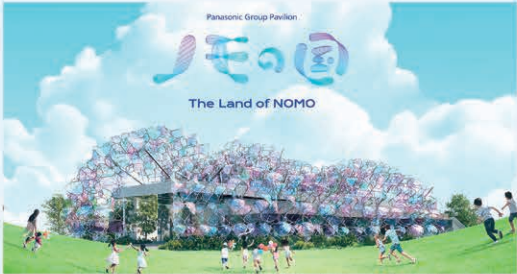
2025年日本万博会場図

9 パナソニック ホールディングス株式会社



パナソニックグループパビリオン 「ノモの国」

資源循環型のパビリオン「ノモの国」では、子どもたち一人ひとりが、こころの持ちようが変わるような体験を提供します。



提供：パナソニック ホールディングス株式会社

10 住友 EXPO2025推進委員会



住友館

住友の森“別子の嶺”から着想を得て、山々が連続するシルエットを表現した外観。来場者は、ランタンを持って森の中で光や音の演出と共に“いのちの物語”に出会う「インタラクティブな体験」や、「植林体験」ができます。



提供：住友 EXPO2025 推進委員会

11 電気事業連合会

電力館 可能性の未来

社会の基盤を支える電力業界の未来を表現します。未来における様々なエネルギーの活用を学ぶことができます。



■ 広告の内容等、掲載された広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、大阪市が推奨等するものではありません。